

イクス活動報告「神奈川県立高等学校保健会横須賀・三浦地区支部研修会」講演会

2011年11月21日（月）「ヴェルク横須賀」に於いて、講演活動を行って参りました。

演題「学校保健におけるアロマセラピーの役割」

講師：(有)鳥居医療総研 マネージャー 梶原 千春（イクスアロマセラピスト）

アロマセラピーという言葉は知っているが詳細は分からない先生方やPTAの方を対象に講演を行って参りました。

アロマセラピーとは一体何なのか、アロマセラピーの歴史から始まり、何故、今、アロマセラピーをはじめとする代替医療が注目されているのかを現代社会のストレスのお話を交えながら総論・各論をお話させて頂きました。

更に、学校保健においてもアロマセラピーが様々な形で応用できるのではないかと可能性についても触れ、参加された皆様は熱心に聴いていらっしゃいました。

途中、実習なども交えながら、実際に精油を扱い、身近にアロマセラピーを体感していただけることができました。

質疑応答では、沢山の質問の手が上がりアロマセラピーに対する関心の高さをうかがい知ることができました。



この県立高等学校保健会研修会の講演は、今年で3回目を迎えており教育現場での精神衛生面などにも、今後、役立てていただけるのではないかと感じております。

講演会などの依頼については、イクススタッフにお気軽にお尋ねください。